



# 唐津市立小川小中 学校だより「小川っ子」

第11号  
令和5年1月27日発行  
文責 校長 小松孝之

## 学校教育目標

【自立・貢献】～未来へはばたく子どもたち～



2月3日は節分です。最近では「豆まき」をしない家庭も増えてきているようですが、古くからの慣習は大切にしたいものです。

節分は「季節を分ける」、すなわち立春の前日のことです。本来は立夏・立秋・立冬の前日も節分となりますが、現在では1年の始まりである春の節分のみが行われています。



また、季節の変わり目には邪気が生じると考えられているため、それを追い払う意味で「豆まき」が行われます。これは、平安時代の宮中で大晦日に厄や災難を祓い清める「追儺（ついな）」という行事が、室町時代には豆をまいて悪い鬼を追い出す行事に発展し、民間にも定着したそうです。語呂合わせで「魔目（まめ）」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」にも通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあるようです。

季節の変わり目は体調をこわしやすいと言われますが、「豆まき」でコロナやインフルエンザ等を吹き飛ばすことができたらいいですね。

今年度もあと2ヶ月となりました。1年間のまとめをしっかりと、次年度につなげていきたいと思えます。

※2月3日（金）に行われる、田嶋神社の豆まきに小学生も参加させていただきます。地域の行事を受け継ぐためにも参加できることはとてもいい機会だと思っています。

豆まきへの声をかけていただいた田嶋神社の古川総代様に感謝申し上げます。

## 「パラスポーツ講演会」立石アルファ裕一さん

児童・生徒に「共生社会の実現に向けて、人々の多様な在り方を相互に認め合うことの大切さ」についての講演並びに午後からは、小中学生対象の卓球教室と中学生への卓球部活動指導も行なっていただきました。

### 【講師：立石アルファ裕一ひろかずさんの略歴】

- 福岡県早良区出身
- 所属：株式会社D2C R
- パラ卓球ナショナルメンバー
- 2018～2021 日本ランキング1位
- 受賞歴：全日本パラ卓球選手権大会金メダル  
：アジア選手権大会銀メダル 他

現在、佐賀SSP一流指導者活用等長期育成プログラムにて、佐賀県のパラ卓球アスリートに指導を行う傍ら、アスリートとしてスポーツの価値を社会に循環させる活動を実施。

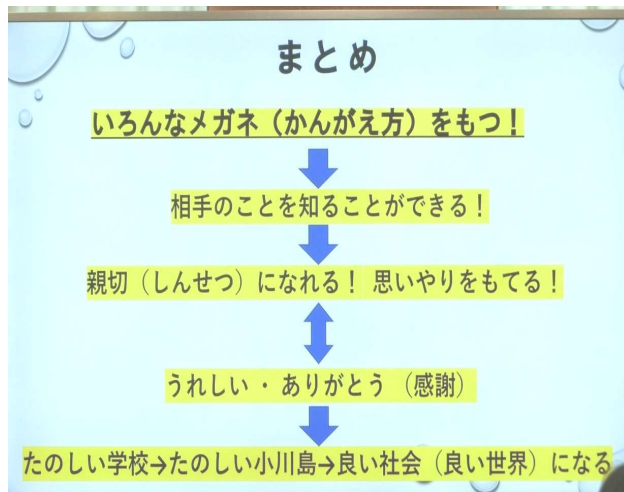


## 【講話】「いろんなメガネを持とう」

人の考えは千差万別。だから相手のことをしっかりと知ることが大切。知れば、その人のものの受け止め方がわかり、それに合った、言葉かけや行動をすることができる。これが“思いやり”。

すると相手から感謝の言葉や気持ちが発信される。これが学校や島内、唐津市、佐賀県、全国、全世界に広がることで、人はハッピーになれるし、良い社会へと変わっていく。

※一流のアスリートは、競技の技術だけでなく、モノの見方や考え方も一流で、ブレない自分流の精神論が確立している。子どもたちにとって、とても有意義で貴重な時間であった。

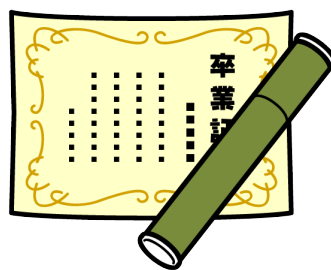


## 【卓球実技】



## 《3月の主な行事》

| 日  | 曜 | 行事                             |
|----|---|--------------------------------|
| 2  | 木 | 6年生を送る会                        |
| 9  | 木 | 学年末懇談会、新旧本部役員会、<br>育友会監査・給食委員会 |
| 17 | 金 | 第111回 小川小学校卒業式                 |
| 24 | 金 | 修了式・辞任式                        |



# おめでとう

## 唐津地区新春読書感想文入賞者の紹介

【入選】 (1年) 渡辺紘一郎さん (1年) 米倉 弥愛さん  
 (2年) 西岡 叶笑さん (5年) 米倉 愛さん  
 (6年) 西岡 秀真さん (6年) 前川 大和さん  
 (中1年) 川野 芽依さん (中2年) 西岡 沙笑さん